

日本小児腎不全学会雑誌投稿規定

掲載対象：日本小児腎不全学会雑誌（以下、本学会誌）は、小児および思春期・若年成人の腎臓病、特に腎不全に関連する領域の進歩、発展に寄与することを目的とした学術論文を掲載する。

投稿資格：筆頭著者と代表著者（Corresponding author）は本学会員であることを要する。ただし、編集委員会あるいは学会からの依頼原稿の場合にはその限りではない。

同意書の提出：必要事項を記入し、論文投稿時に添付する。

誓約書の提出：研究報告、症例報告、実践報告・事例研究に関しては、必要事項を記入し論文投稿時に添付する。

倫理性の担保：ヒトを対象とした論文は世界医師会総会（World Medical Assembly）において承認されたヘルシンキ宣言（1964年承認、2000年10月修正）の精神に則って行われた研究でなければならない。また、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和5年3月27日一部改正）

（<https://www.mhlw.go.jp/content/001077424.pdf>）、厚生労働省の臨床研究に関する倫理指針（<http://www.mhlw.go.jp/general/seido/kousei/i-kenkyu/rinri/0504sisin.html>）および日本移植学会倫理指針（http://www.asas.or.jp/jst/pdf/info_20120920.pdf）を遵守するものでなければならない。

動物を用いた研究については「動物の愛護及び管理に関する法律」（昭和48年法律第105号）、「実験動物の飼育及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」（平成18年環境省告示第88号）、「研究機関等における実験動物等の実施に関する基本指針」（平成18年文部科学省告示第71号）、「動物実験の適正な実施に向けたガイドライン」（日本学術会議策定）などを遵守して行われた研究でなければならない。

個人情報の管理：「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン <https://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/seisaku/kojin/dl/170805-11a.pdf>」（厚生労働省）に従い、個人情報管理の観点より容易に個人が特定されないよう十分に配慮する。症例報告、実践報告・事例研究の場合は、原則として本人または代諾者の同意を得る必要があり、その旨を本文に明記する。

- 1) 論文に記載する個人情報*は、学術的に必要な範囲に留め、個人が特定されないよう

に十分配慮する。患者個人の特定が可能な氏名、カルテ ID、入院番号、イニシャルは記載しない。年齢と性別は記載するが、論文内容の性質上、年代（40 歳代など）の記載で十分な場合はそれに止める。

- 2) 診療時期の表記は月（上，中，下旬）単位までとし、日付は記載しないのが望ましい。正確な手術日などの時点から経過期間の記載が不要な場合は、絶対時間を記載せず、起点を「20xx 年 5 月中旬」などとし、そこからの経過日数を時系列で記載して経過を説明する相対時間の表記とすることが望ましい。
- 3) 出身地・居住地は都道府県までに留める。ただし、疾患の発生場所が病態等に関与する場合は区域までに限定して記載することを可とする（神奈川県，横浜市など）。また、すでに診断・治療を受けている場合、他院名やその所在地は記載しない。
- 4) 人種や国籍の記載は学術的意義のある場合にのみ留めること。学術的価値により顔写真など個人が特定される情報を掲載する必要がある場合には、予め患者・家族から文書で同意を得ていることが必要である。顔面写真を提示する際は、目を隠す。眼疾患の場合は、顔全体がわからないよう眼球部のみの拡大写真とする。

注釈*：個人情報とは、個人名、イニシャル、診療録 ID、生年月日、診療年月日、出身地、居住地、顔を含んだ身体写真などを指す。

生検、剖検、画像情報のなかに含まれる番号などで、患者個人を特定できるものは削除する。

利益相反について：本学会の医学研究の利益相反（COI）に関する指針を遵守する。

原稿様式：

- 1) 投稿論文のカテゴリーは、(1) 総説、(2) 研究報告、(3) 症例報告、(4) 実践報告・事例研究、(5) その他とする。投稿者はすべてのカテゴリーに投稿可能であり、投稿時に希望のカテゴリーを明記する。
- 2) **用紙**：A4 サイズ 1 段組みの原稿を用いる。
- 3) **ページ数と行数**：表紙を 1 ページ目とし、順次各ページの下段中央にページ数を入れる。また行数を入れる。
- 4) **和文**：左横書きで常用漢字、現代仮名使いを用いる。外国語は避けるが、人名、酵素名、生化学的な物質名、薬品名、地名は原則として原語を用いて表記し、英文表記の場合には固有名詞以外は小文字に統一する。度量衡は CGS 単位を用いて表記する。繰り返す表記については略語の使用も可能であるが、初出時には完全用語記載の後、括弧を用いて略号を表記する。
- 5) **原稿の長さ**：原稿の長さは刷り上がり（図・表・文献を含む）として下記に示すように規定する。

総説：8 頁（13,500 文字以内）＊依頼総説に関しては頁数超過の実費負担は該当しない。

研究報告：6 頁（9,000 文字以内）

症例報告・実践報告・事例研究：4 頁（5,000 文字以内）

その他：4 頁（5,000 文字以内）

図、表、写真は 1 枚 600 文字相当とする。

原稿形式：

原稿は以下の形式とする。

和文表紙→和文要約→本文→文献→表→図の説明→図

1) 和文表紙：

論文カテゴリー、論文表題、著者名、所属、連絡先（代表著者の姓名、所属、職名、住所、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレス）

2) 和文要約：研究目的、方法、結果、結論を明記し、400 字以内でまとめる。

Key Words 5 語以内を表記する。

3) 本文：

総説：緒言→解説的な考察→結論→利益相反の開示

研究報告：緒言→対象・方法→結果→考察→結論→利益相反の開示

症例報告：緒言→症例→考察→結論→利益相反の開示

実践報告・事例研究：緒言→方法→結果（事例紹介、実践内容を含む）→考察（介入の評価を含む）→結論→利益相反の開示

の順に記載する。

結論の後に「利益相反に関する開示」について表記する。

4) 文献：

引用文献は最小限にとどめ、引用の都度に本文中の肩番号にて表記し、末尾に引用順に一括して次の形式で記載する。文献の著者は 3 名まで記載し、4 名以上の場合は「他」、「et al」とする。

雑誌の場合：著者名、論文題名、雑誌略名（類似雑誌名の場合には発行地）、西暦年号、巻、初頁・終頁の順に記載する。

単行本の場合：著者名、章題名、編者名、書名、発行地、発行所、発行年、初頁・終頁の順に記載する。

雑誌の略名は英文の場合 Index Medicus、和文の場合には医学中央雑誌を参照する。

(例) 雑誌の場合

・本田隆宏, 高木健, 田口正巳, 他. ハムスター-ラット間の異種心移植における脾臓摘出の効果とその免疫学的機序. 移植 1993; 28: 186-91.

・Moses RD, You CH, Lee KY, et al. Induction of long-term survival of hamster heart

xenografts in rats. Transplantation 1993; 79: 311-4.

(例) 単行本の場合

・筑波太郎. 臓器移植の将来. 木本綱政, 石橋幹編. 21世紀における移植医療. 東京: 医書出版社, 1993: 100-30.

・Weinstein L, Swartz MN. Pathologic properties of invading microorganisms. In: Sodemasn WA Jr, Sodeman WA ed. Pathologic physiology: Mechanisms of disease. Philadelphia: Saunders, 1993: 457-72.

電子書籍については、媒体別に以下の3つの記載方法を用い、その他の媒体については単行本の記載方法に従うこととする。

(例) UpToDate から引用する場合

・著者名. タイトル. In: UpToDate, Post TW (Ed), Wolters Kluwer. (Accessed on 月 日, 年.)

(例) Web上の媒体から引用する場合

・著者名. タイトル. 出版社(Webサイト名); 年. Accessed on 月 日. URL

(例) Kindle等PDF形式でない媒体から引用する場合

・著者名. タイトル (Kindle version). 出版地: 出版社, 年.

5) 表

表の記載と本文中の記載が重複しないようにする。ExcelやWordを用いて表を作成し、画像化しない。表題を上段に、表説明を下段に記載し、縦罫線は用いない。各表は表1、表2のように順番をつけて別の頁に印刷し、本文中に挿入箇所を()で明示する。表の体裁が掲載に耐え得るものでない場合、掲載決定後であっても著者に差し戻し、修正・再提出を求めることがある。

6) 図

そのまま製版できるように配慮する。JPEG、TIFFファイル、PDFファイル、もしくはPPTファイル(パワーポイントファイル)にて保存する。写真、図表は原則白黒印刷であり、白黒印刷で判別可能なものにする。電子顕微鏡写真や組織写真など拡大倍率や大きさを表示する必要がある場合には図内にスケールを入れる。患者の写真を使用する際には許諾を得て、その旨を記載する。許諾の取得が不可能な場合には個人特定が不可能になるよう配慮する。

各図は、図1、図2のように順番をつけ、表と同じように本文とは別に別頁に印刷し、裏面に図の上方と筆頭演者を記載する。表と同様に本文中に挿入箇所を()で明示する。なお、論文投稿に際しE-mailでの送付を行う場合には、図の上下方向と各図の判別が可能なように配慮する。

図の体裁が掲載に耐え得るものでない場合、掲載決定後であっても著者に差し戻し、修正・再提出を求めることがある。

7) 図の説明

図の表題と説明は、本文とは別にまとめて記載する。

投稿・原稿送付先

投稿方法は以下の2つの方法のいずれかを選択する。

1) 簡易書留郵便による送付

投稿原稿原本とそのコピー3部(図内に写真を有する場合も写真原画1部とコピー3部)およびこれらを記録した電子媒体(CD-ROM、DVD-ROM、USBメモリ)および同意書、誓約書(研究報告、症例報告、実践報告・事例研究で提出)、すべての著者の利益相反報告書(様式1)(一括または複数枚に分けて提出可)、原稿の様式チェックシートを同封し連絡先を明記して送付先に簡易書留郵便にて送付する。なお、郵送された原稿、電子媒体は返送しない。

2) E-mail を用いた送信

原稿ファイルおよび署名の上スキャンニングしてPDFファイルに取り込んだ同意書、誓約書(研究報告、症例報告、実践報告・事例研究で提出)、すべての著者の利益相反報告書(様式1)(一括または複数枚に分けて提出可)、原稿の様式チェックシートを添付し、下記メールアドレスに送信する。ただし、受信確認メールが1週間以内に届かない場合には、電話にて連絡する。

原稿送付先：〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-18 本郷BNビル2F

医学図書出版株式会社内

日本小児腎不全学会雑誌編集委員会

TEL.03-3811-8210 FAX.03-3811-8236

メールアドレス：shonijinfuzen@igakutosho.co.jp

審査

投稿原稿の採否、掲載時期(掲載順)は複数の査読者の意見を参考に、編集委員会において決定する。原稿の体裁、長さ、文体に関して編集委員会より著者に改変を求めることがある。査読により論文修正が必要な場合には、著者は指定期間内に修正論文を返送する。

校正

著者校正は初校のみの1回とし、誤植の訂正にとどめ文章の挿入、削除、内容の改変は認めない。校正は朱筆にて行い編集者指定の期日までに返送する。他誌よりの引用、転載を行う場合には、速やかに著作権所有者からの転載許諾を得ること。また、著者校正後においても、編集委員会の責任において若干の字句の訂正を行う場合がある。

別刷

別刷を希望する場合には有料にて 30 部単位にて作成する。責任著者以外の別刷請求には応じず、著者校正以降の別刷請求は別料金となる。また、別刷りの発送は入金確認後とする。発刊より 1 年経過後、入金の確認ができない場合は破棄する。

投稿料・掲載料

規定頁数内での投稿に関しては無料とする。規定の頁数を超過する場合には、著者の実費負担（1 ページにつき 10,000 円）とする。なお、依頼総説原稿はこの限りでない。また、トレーシングなどの図表作成費用や特別な印刷技術を要する場合、カラー写真掲載を希望する場合には、著者の実費負担とする。

著作権

本学会誌に掲載する著作物またはこれを原著作物とする二次著作物の著作権およびこれら著作物の複写、複製、転載、翻訳、データベースへの取り込みおよび送信などの権利は信託財産として日本小児腎不全学会に帰属する。

(2014 年 10 月 31 日制定)

(2015 年 6 月 1 日改訂)

(2018 年 11 月 16 日改訂)

(2019 年 12 月 9 日改訂)

(2022 年 12 月 8 日改訂)

(2023 年 9 月 22 日改訂)

(2023 年 10 月 27 日改訂)

(2026 年 3 月 26 日改訂)